

平成 27 年 4 月 1 日

千葉市薬剤師会の皆様へ

千葉大学大学院薬学研究院

「心不全患者の在宅医療で活躍できる薬剤師の育成」講習会のお知らせ

近年、在宅医療への薬剤師の参画が求められております。本講習会では、心不全患者の在宅ケアに焦点を当て、心不全患者の在宅ケアで活躍できる薬剤師の育成を目的として、全 7 回にわたり講義や実習を行います。心不全の病態、薬物治療などの知識だけでなく、薬物治療評価に必要なフィジカルアセスメント実習や実際の事例の検討を行うことにより、在宅の心不全患者ケアを行えるようになることを目標としています。今回、受講者を 20 名募集いたします。在宅医療に参画したい薬剤師の方のご参加をお待ちしております。

開催日時：平成 27 年 6 月 14 日、7 月 26 日、8 月 9 日、9 月 6 日、10 月 4 日、
10 月 25 日、12 月 6 日（日時は変更する場合があります）
各日 10 時～12 時（受付開始 9：30）

会 場：千葉大学薬学部（〒260-8675 千葉市中央区亥鼻 1-8-1）

定 員：20 名

参加費：無料

応募資格：全ての講習会に参加可能な薬剤師

申込方法：下記の申込先（事務局）宛てにメールでお申し込みください。

メールの件名を「講習会申し込み」とし、①氏名、②勤務先名、③勤務先住所、④電話番号、⑤FAX 番号、⑥E-mail を記載してお送りください。

申込先（事務局）E-mail：adca5260@chiba-u.jp

申込期限：平成 27 年 5 月 1 日（金）

募集人員を超えた場合は抽選となります。受講の可否は 5 月 8 日（金）までにご連絡いたします。なお、1 つの施設から多数の応募があった場合は、1 施設で 1 名とさせていただきます。

※本講習会は、日本薬剤師研修センターの集合研修会としても申請中です（各回 1 単位）。

【各回の概要】

	日時	講習会の内容※（方法）
第 1 回	6 月 14 日（日）	心不全の病態・症状・検査（講義）
第 2 回	7 月 26 日（日）	事例紹介・検討①（演習）
第 3 回	8 月 9 日（日）	心不全の診察（講義・シミュレータ実習）
第 4 回	9 月 6 日（日）	事例紹介・検討②（演習）
第 5 回	10 月 4 日（日）	心不全の治療（講義）
第 6 回	10 月 25 日（日）	事例紹介・検討③（演習）
第 7 回	12 月 6 日（日）	心不全の薬物治療（スモールグループディスカッション）

※詳細な内容は次ページをご覧ください。なお、内容は変更する場合があります。

【問い合わせ先】

千葉大学大学院薬学研究院 実務薬学研究室（関根祐子）

TEL&FAX：043-226-2911

事務局 E-mail：adca5260@chiba-u.jp

<講習会の内容>

心不全の薬物治療に必要な知識・評価能力を身につける(奇数回)

下記①～③の講習会を4回に渡って行う。

- ① 千葉大学薬学部において心不全の病態、症状、検査、診察、治療についての知識を身につけるために講義を行う。
- ② 在宅心不全患者の薬物治療評価に必要なバイタルチェックと胸部のフィジカルアセスメントができるようになるための実習を行う（診察シミュレーターを使用）。
薬剤師のフィジカルアセスメントのゴールは病気の診断ができる能力をつけることではなく、治療の経過において心不全の悪化がないか、または薬の副作用が出現していないか、が理解できることとする。つまり、これまで認められなかった心音、呼吸音、などが聴取されるか、全身の浮腫や頸静脈の怒張（心不全の徴候）がみられるか、などを確認でき医師に適切に伝えられる能力を身につけてもらうことが目的である。
- ③ 在宅心不全患者の薬物治療を適切に評価できるよう、模擬症例を用いて薬物治療に関するスモールグループディスカッションを行う。

心不全患者の在宅医療の現状と問題点についての事例紹介・検討会に参加する(偶数回)

まだ多くはないが、わが国でも実際に在宅医療で心不全のチーム医療を実践している施設がいくつかある。実際に心不全の在宅医療を実践している医師、薬剤師、看護師などが体験した事例を提示してもらい、現状と問題点について各職種の立場から議論してもらうほか、在宅医療を成功させるためのアドバイスについて話してもらう。また、患者情報収集や多職種連携に必要なコミュニケーション技術についても演習する。本講習会参加者は、事前に提示事例について自分なりの薬剤管理計画を立案しておき、自分の計画と比較しながら心不全患者ケアを実際に行っている医療職者の議論を聴講、参加する。

注) 講習会の効果を確認するために、アンケートを行うことがあります。